

科目名	臨床心理学	担当教員	山田 仁子 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻 作業療法専攻	専門基礎科目	必修	2年次	前期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23E	① ②					

科目概要	臨床心理学についての学びは、心理臨床での実践だけでなく、リハビリテーションの臨床場面、日常の対人関係、ストレス対処、メンタルヘルセルフケアなど、幅広く有用である。本講義では臨床心理学のうち基礎的なところについて学ぶ。心理査定は関連領域のなかで取り上げる。講義はアクティブラーニングを取り入れた構成を用い、受講生が主体的に考えることを重視する。理論に触れた後、各自で取り組むワーク、ディスカッション、臨床を想定したロールプレイを通して体験的にも理解を深めていく。
学習目標	臨床心理学の基本的な倫理、理論について学び、体験を通して習得する。 心理臨床の学びをリハビリテーションの場に応用し、患者理解を深めたかかわりの実践を目指す。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	臨床心理学の概要	臨床心理学の歴史、心理検査、倫理と臨床的な態度など、全体を概観する。	臨床心理学の概要について理解する。本講における学びの姿勢を共有する。	
2	精神分析 1	精神分析の概要と防衛機制について学ぶ。	精神分析の概要を理解する。防衛機制についての理解を深める。	
3	精神分析 2	対象喪失について学び、臨床場面での患者理解についてグループディスカッションを行う。	対象喪失について理解する。リハビリテーション場面での防衛機制や対象喪失を考える。	
4	交流分析	交流分析の理論の基本を学ぶ。日常生活場面で起きる交流について検討する。	交流分析の基本を理解する。	
5	行動療法	行動療法の理論の基本を学ぶ。臨床場面で想定されるものについてグループディスカッションとロールプレイを行う。	行動療法の基本を理解する。患者がリハビリテーションに主体的になれない架空の事例をもとに、どのようなかかわりが考えられるかを検討し、工夫する。	
6	認知行動療法 1	認知行動療法の基本的な理論を学ぶ。次回のワークで取り上げる身近な例を選定する。	動機づけ面接法の理論の基本を理解する。	
7	認知行動療法 2	身近な体験を用いて、各自ワークシートで実践する。CFT、ACT など第三世代の認知行動療法を紹介する。	ワークシートの実践を通して認知行動療法の基本的な実施方法を体験する。	
8	来談者中心療法	ロジャースの提唱した来談者中心療法の基本に触れる。中核 3 条件など、カウンセラーの態度について知る。	来談者中心療法におけるカウンセラーの基本的態度について理解する。	
9	動機づけ面接法 1	来談者中心的要素を基本として、変化を促すことに特化した面接スタイルである動機づけ面接法の理論を学ぶ。	動機づけ面接法の理論の基本を理解する。	
10	動機づけ面接法 2	動機づけ面接法の理論で学んだことを使い、リハビリテーション場面を想定したロールプレイで患者の主体的な態度を引き出すかかわりを体験的に理解する。	ロールプレイを通し、リハビリテーション場面での動機づけ面接法を用いた介入を検討する。	
11	医療心理学・障害心理学	医療心理学・障害心理学について学び、リハビリテーションでの心理学的理解をもったかかわりを考える。	医療心理学・障害心理学について理解を深める。	
12	思春期・青年期	思春期・青年期の発達課題や、精神力動について学ぶ。	思春期青年期の心理についての基本を理解する。	

13	発達障害	発達障害の基礎知識、アセスメント、支援の実際について学ぶ。	発達障害の基本を理解する。各種アセスメントについて理解する。	
14	精神障害	統合失調症、気分障害、強迫性障害、不安障害など精神障害の基礎知識を学ぶ。	精神障害の基本を理解する。リハビリテーション場面での接し方について考えることができるようになる。	
15	老年期、障害心理学	老年期の臨床心理について学ぶ。	基本を理解し、リハビリテーション場面での接し方についてグループディスカッションで検討する。	
評価方法		期末試験 70% 授業参画度 30% (小テストまたはレポート、ディスカッションなどの参加、応答などで評価する)		
課題に対するフィードバック		講義の終わりに質疑応答の時間を設ける。		
教科図書		特定の教科書は用いない。資料は適宜配布する。		
参考図書		講義時に随時紹介する。		
学習の準備		シラバスに沿って事前学習を 90 分以上行い、概要を知り疑問点をみつけ、受講時の主体的な学習につなげる。事後学習は、90 分以上、受講内容を整理し学習を深める。講義の前後で合計 180 分以上の学習を行う。		
オフィスアワー		火曜 14:40~16:10 その他はアポイントメントを取ってください		
担当教員欄に※印を付した教員の実務経歴				